

# 大学間連携キャンペーン観測について

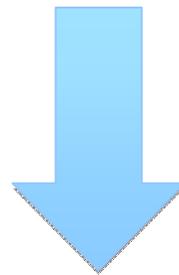
岡山天体物理観測所 黒田大介

## 目的

2011年4月 大学間連携事業が開始.

・ 7大学+国立天文台で、9施設11台の中小口径望遠鏡  
北大, 東大miniTAO, 東大木曾, 東工大, 名大, 京大, 京産大,  
岡山188, 岡山50, 広大, 鹿児島大, 石垣島天文台

○ 同じターゲットをみんなで観測してみましよう。



今後、連携観測を進める上での課題や問題点を洗い出す。

## 大学間連携 第1回キャンペーン観測

日程: 2011/04/25 – 2011/05/02

コアタイム: 4/30-5/1 (2夜)

すべての望遠鏡が、すべての観測時間を  
キャンペーン観測に使う。

その他の期間:

コアタイムの試験観測, モニター観測

関係機関から観測ターゲットの提案を募り4天体を選択。  
この期間の突発天体には随時対応することとなった。

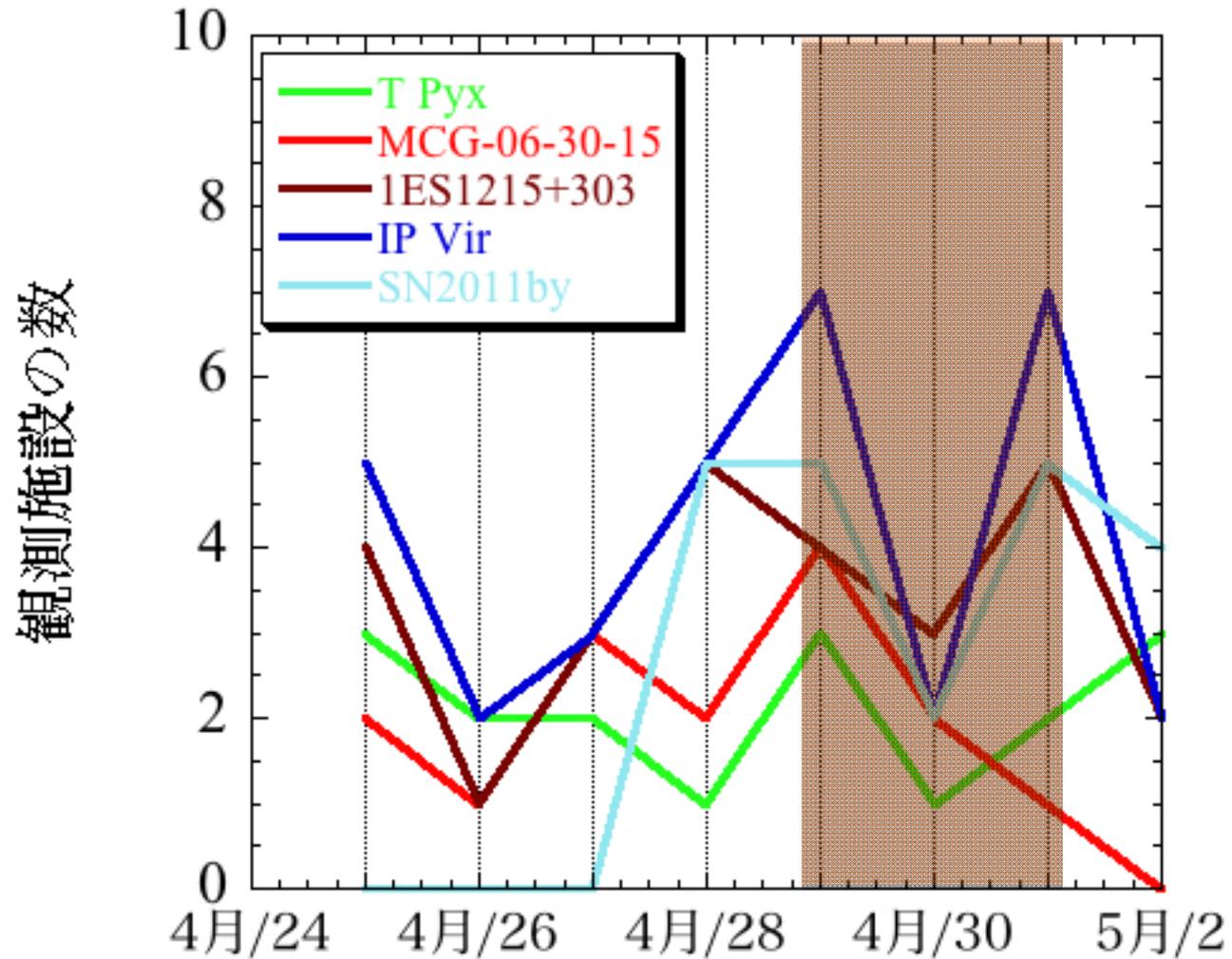
2011/5/19-20に第1回キャンペーン観測のまとめとして  
ワークショップを国立天文台三鷹を会場に開催。

## ターゲット

- ▣ delta Scuti型脈動星 IP Virginis [PI: 野上 (京都大学)]  
→この後の講演, 光赤天連シンポ, 天文学会秋季年会
- ▣ 再帰新星 T Pyxidis [PI: 新井 (京都産業大学)]  
→天文学会秋季年会
- ▣ BL Lacertae型天体 1ES 1215+303  
[PI: 河合 (東京工業大学)]
- ▣ セイファート 1型 銀河 MCG-06-30-15  
[PI: 峰崎 (東京大学)]
- ▣ 超新星 SN2011by [PI: 山中 (広島大学)]  
→ポスター, 光赤天連シンポ, 天文学会秋季年会

## キャンペーン観測中の観測施設数

- 最終的に11施設12台の望遠鏡が観測に参加
- ターゲットは5天体



## 第1回キャンペーン観測の岡山観測所のまとめ

### 188cm望遠鏡 + ISLE

観測実施日 5/1

観測者 関口, 泉浦, 柳澤, 黒田

観測天体

SN2011by J,H,K 低分散分光

1ES1215+303 J,H,Ks 撮像

IP Vir H 撮像

### 50cm望遠鏡 + 可視3バンド同時測光カメラ

観測実施日 4/26, 27, 28, 29, 5/1,2

観測者 無人 (スケジュール管理 黒田)

観測天体

SN2011by g', Rc, Ic 撮像 (4/28-29, 5/1-2)

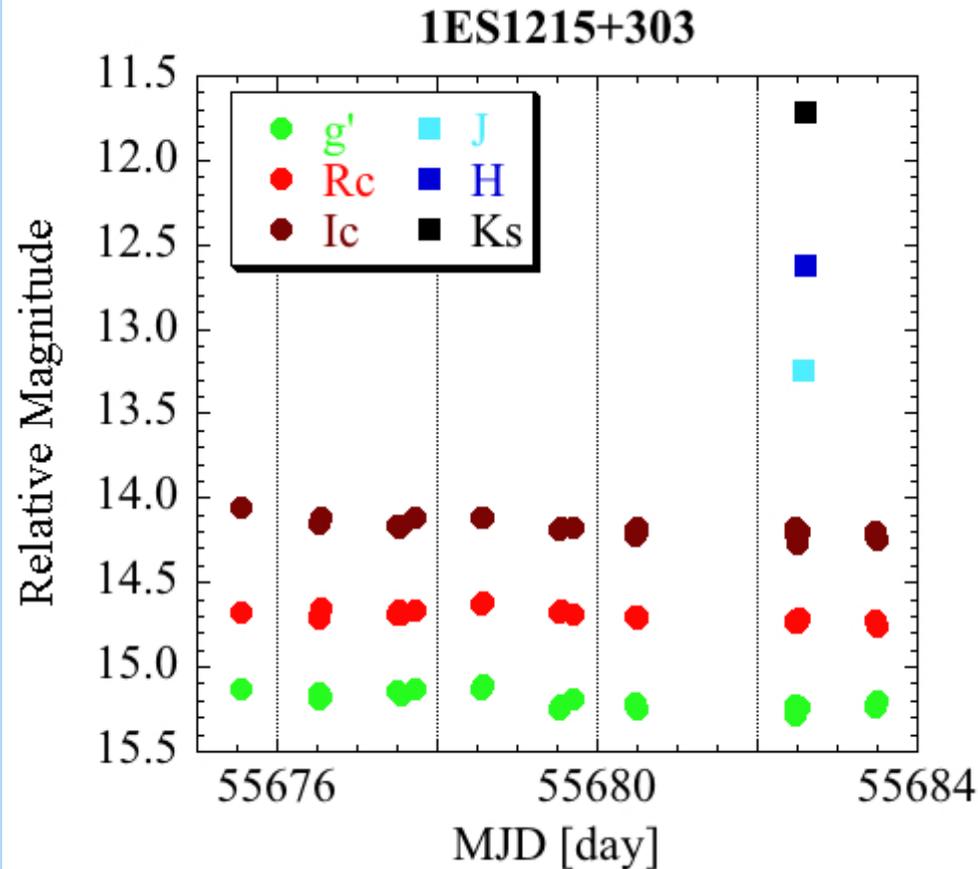
1ES1215+303 g', Rc, Ic 撮像 (4/26-29, 5/1-2)

IP Vir g', Rc, Ic 撮像 (4/29, 5/1-2)

MCG-06-30-15 g', Rc, Ic 撮像 (4/26-29, 5/1)

T Pyx g', Rc, Ic 撮像 (4/26-29, 5/1)

## Multi-band photometry of 1ES1215+303



4/25-29, 5/1-2

50cm + tri-band imager

exp. time 540 sec (60 sec x 9)

5/1 188cm + ISLE

exp. time 240 sec (30 sec x 8)

comparison star : 12:17:44.4 +30:09:44

( $g' = 15.23$ ,  $Rc = 14.67$ ,  $Ic = 14.23$ ,  $J = 13.67$ ,  $H = 13.34$ ,  $Ks = 13.23$ )

## 第2回キャンペーン観測について

日程:

コアタイム: 2011/09/29 – 2011/09/30 (2夜)

および その前後の期間

参加機関: 14施設15台の望遠鏡 (口径0.4m-1.88m)

北大, ぐんま天文台, 東大miniTAO, 東大木曾, 東工大, 名大, 京大,  
京産大, 西はりま天文台, 岡山188, 岡山50,  
美星スペースガードセンター, 広大, 鹿児島大, 石垣島天文台

ターゲット募集

プロポーザル制: キャンペーン中のToOも含む.

応募資格: 参加機関の関係者のみ.

審査: 運営企画委員会8名の合議.

今後、共同利用の時間を大学間連携のためにください。

## 課題・反省点

- 指揮権および観測指示の明確化
- 観測ターゲットごと、望遠鏡や装置スペックのWebページの作成
- データポリシー(誰が解析を行い、誰が論文主著者になるかなど)のルールの明確化
- 共同利用望遠鏡の観測時間の確保について
- データフォーマットの共通化とWGの設置
- ターゲット選択のプロポーザル制の導入
- 観測に関係するルールを決めるため実行委員会の設置